寄稿

住みやすい町を目指して…64

音楽を通して、日々に彩りを

フルート奏者　北村（きたむら）　史織（しおり）さん（神山在住）

【自己紹介】

　フルート奏者として演奏や指導を行っています。また、ピラティスの資格を取得し、演奏者向けに身体の使い方や姿勢についての指導も行っています。

【フルートをはじめたきっかけ】

　10歳のとき、松田町民文化センター（現在の松田町生涯学習センター）の大ホールでオーケストラの演奏を聴きました。そのときフルートが一際輝いて見え、「私も吹いてみたい」と思ったことがきっかけです。そこから２年かけて家族を説得し、念願だったフルートを始めました。



【フルートの魅力と難しさ】

　フルートは人の声に近く、息や身体の使い方によって優しく柔らかな音から力強い音まで、さまざまな音色や表現を生み出せる楽器です。そして、言葉を紡ぐように一音一音に思いを込められるところが魅力です。

　一方で、思い通りの音色をつくるには細かな息のコントロールが必要です。難しさもありますが、だからこそ面白さを感じています。

【思い出に残ったこと、嬉しかったこと】

　演奏後の拍手や聴いてくださった方の笑顔が何より嬉しいです。「また聴きたい」と言っていただけることが、これからの活動への大きな励みになっています。

【これからの演奏活動】

　クラシックの演奏会だけでなく、町民の皆さんが気軽に音楽を楽しめる場をつくりたいです。子どもから大人まで、日常の中で音楽に触れられる活動を目指していきます。

　また、演奏や身体づくりを通して音楽を長く楽しめる環境づくりにも取り組んでいきたいです。

【町民の皆様に】

　音楽は暮らしの中に楽しみや心の豊かさを与えてくれます。楽器は何歳からでも始められるので、興味のある楽器があればぜひ挑戦してみてください。

　音楽を通して、皆さんの日々の生活に彩りを添えられたら嬉しいです。

「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体で、このコーナーに掲載してくださる方を募集しています。
　希望される方は下記までご連絡ください。

令和８年 第４回定例会は
12月２日（水）開会予定
ぜひ、傍聴にお越しください。

編　集
あとがき

　今年の夏も猛暑続きの後には長雨と、気候変動が気がかりの今日ですが、町民の皆様は如何お過ごしでしょうか。

　私共議会の役割は、行政へのチェック機能が主な仕事です。他にも町民の皆様との対話、視察など色々活動させて頂いております。

　町民の皆様も、提案や意見が有りましたら、議員や議会に是非お聞かせください。

　議会だよりも町民の皆様に楽しく読んで頂けるよう、広報広聴常任委員会一同、今後共努力してまいります。

（秋田谷）

議会広報広聴常任委員会
委員長　武尾　哲治
副委員長　寺嶋　正
委員　飯田　一
委員　南雲まさ子
委員　秋田谷光彦
委員　吉田　功

発行／松田町議会　編集／議会広報広聴常任委員会 ☎0465-84-1335 FAX0465-44-4687　E-MAIL:gikai@town.matsuda.kanagawa.jp